

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	認知症サポーター講座を受講しているスタッフは多いが、実際キャラバンメイト等の受講者がなく、看護師のみなので、専門性を生かした地域への貢献が制限されている。	認知症サポーター講座がいつでも開催できるスキルとスタッフの確保をする事により、ホームの存在認識を深める。	キャラバンメイトの受講を積極的に受け、保育園、幼稚園、小学校、自治会等において、要請があればいつでも対応できるスキルと人数を確保し、地域貢献に努め、ホームの存在を更に身近に認識してもらう。	6ヶ月
2	26	地域との関わりは積極的に取り組んでいるが、元々ある近隣の社会資源の活用が乏しく、介護計画書の中にも利用するサービスが少ない。	市内の社会資源(ソフトピア、スイトピア、図書館、公園、お寺、銭湯、大型スーパーなど)を活用し、生活に張りももって積極的に暮らす。	週に1回は行事以外にふれあいデイを実施する事により、身近な場所に積極的に出かけ、活用する事でADLの維持や生活の楽しみを増やしていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。